

第31回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム アンケート結果

平成28年8月28日(日)

小田急ホテルセンチュリー相模大野

【アンケート集計結果】

回収枚数 39枚

【回答者情報】

居住地 県内 38 県外 1 回答なし 0

(内訳)

県内 : 横浜市(7)、川崎市(3)、相模原市(13)、鎌倉市(1)、藤沢市(2)、小田原市(1)
茅ヶ崎市(1)、秦野市(1)、厚木市(2)、大和市(1)、伊勢原市(2)、座間市(3)
大井町(1)

県外 : 東京都(1)

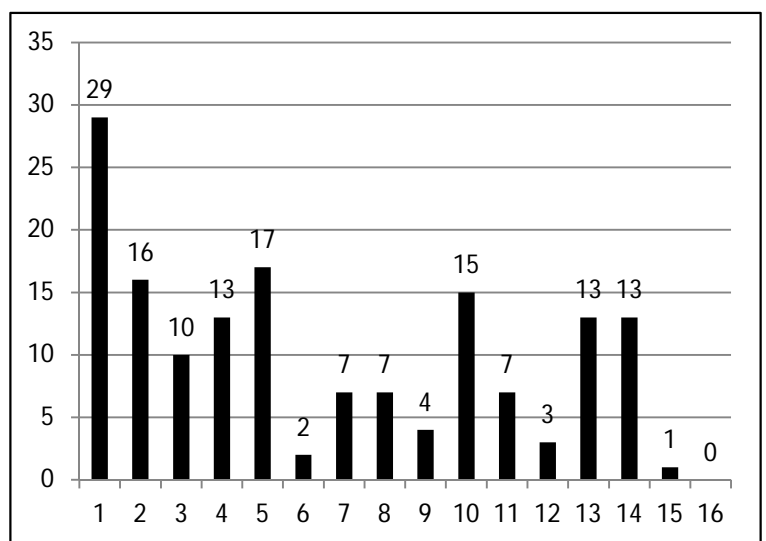
性別 男性(24)、女性(10)、回答なし(5)

年齢(複数名回答者有)

~10代(0)、20代(5)、30代(0)、40代(2)、50代(4)、60代(12)、70代(13)、80代(2)、回答なし(1)

Q1 水源環境保全・再生に関わる問題について、関心があるものは何ですか(複数回答可)

1	森林の保全	29
2	森林の多面的機能の発揮	16
3	林業の振興	10
4	木材の利用	13
5	生態系の保全	17
6	湧水への対応	2
7	水害や土砂災害への対応	7
8	気候変動による水循環への影響	7
9	ダム湖の水質	4
10	河川の水質	15
11	地下水の保全	7
12	水辺空間の保全・創出	3
13	市民活動の促進	13
14	水源環境の保全に関する理解・教育促進	13
15	その他	1
16	回答なし	0

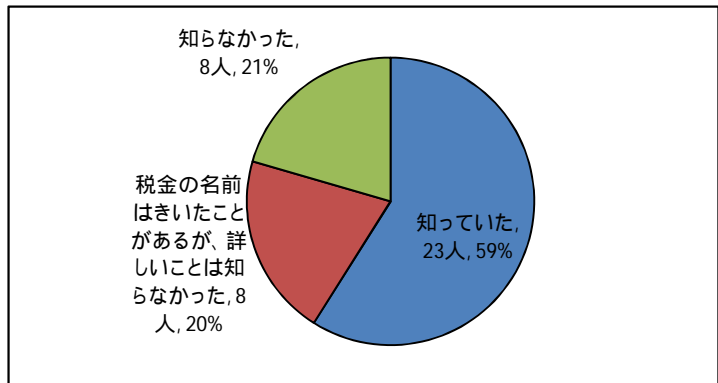


【その他の回答】

水源環境保全税の制度、仕組み

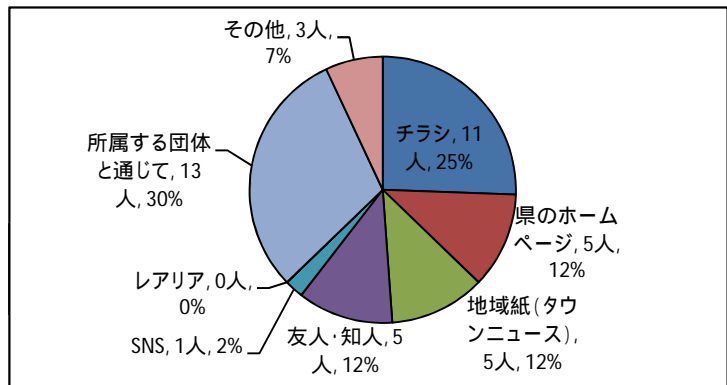
Q2 神奈川県では、平成19年度から個人県民税の超過課税(水源環境保全税:納税者一人当たり年額約890円)を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。このことについて、ご存知でしたか。

1	知っていた	23
2	税金の名前はきいたことがあるが、詳しいことは知らなかった	8
3	知らなかった	8



Q3 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。(複数回答有)

1	チラシ	11
2	県のホームページ	5
3	地域紙(タウンニュース)	5
4	友人・知人	5
5	SNS	1
6	レアリア	0
7	所属する団体を通じて	13
8	その他	3

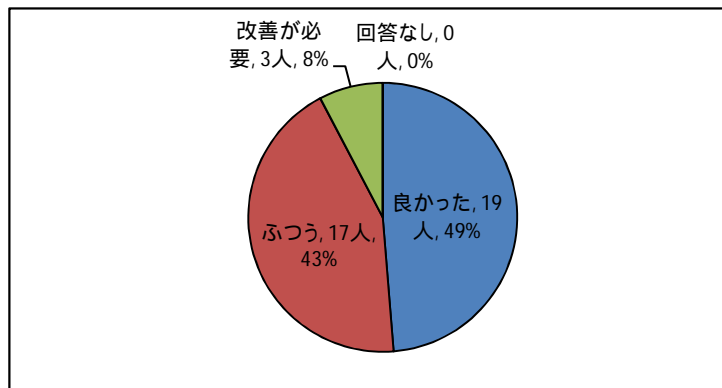


【その他の回答】

大学の掲示版	1
小田原市役所、藤沢市役所の環境保全部署	1

Q4 今回の県民フォーラムはいかがでしたか。

1	良かった	19
2	ふつう	17
3	改善が必要	3
4	回答なし	0



【良かった理由】

- 知らなかった事が分かった
- 暑中、ゆったりした会場で落ち着いて講演を聞くことができた
- 活動の実践例が聞けて良かった
- 森林や河川などの環境保全の実績や目標が分かったから

【改善が必要な理由】

ミニ講演会の話に盛り上がらなかったようだ

もっと多くの方が知り得る必要を感じました

出演者の増

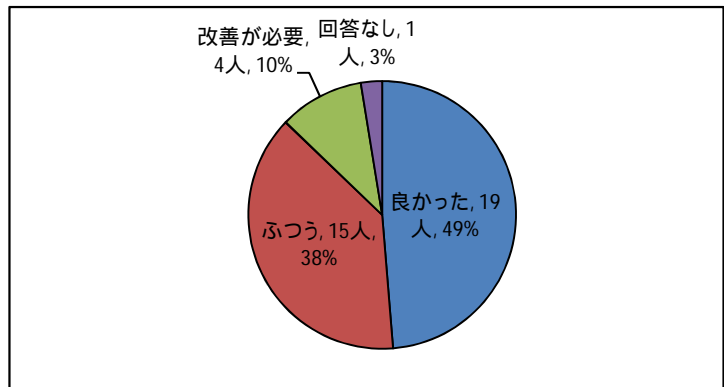
開催の周知不足。会場(ホテル)入口に案内板なし。公共施設を使わなかったのは何故？

ただ、関心のある方が参加しているのであって、もっと大衆にアピールするのに何が必要か考える事も！

会場、一般の方が入りやすい場所が良いと思う

Q5 今回の県民フォーラムの企画内容について

(1) ミニ講演		
1	良かった	19
2	ふつう	15
3	改善が必要	4
4	回答なし	1



【良かった理由】

講演の時間は各30分位でちょうど良かったです

それぞれの団体の取組が良く分かりました

水源環境の大切さを知りました

各団体の活動内容がわかった

実体験をふまえた内容

今まで知らなかった事も分かった

皆さん要点をしぼった内容で理解しやすかった

神奈川県の水源地環境を保全するための団体活動の紹介が分かりやすかった

【改善が必要な理由】

一部発表者の声量が小さく聞き取りにくかった

ローカルな話題は都市中央部で話し、もっと中央部で問題になっていることを情報として欲しい

時間が長かった

講師はどのような基準で選ぶのか？スピーチ時間配分を厳格にせよ(かなりのバラつきがあった)

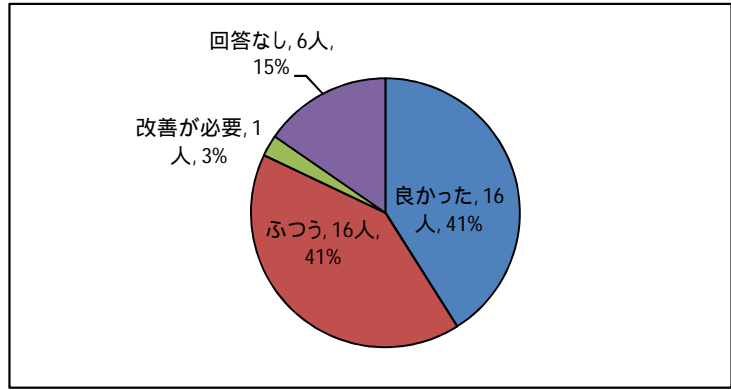
山本さん: 話が整理されていて聞き取りやすかった

倉橋さん: 声が小さすぎて聞き取れなかった

柳川さん: 話のつながりがなく何を言っているのかわからなかった

水環境の保全のために森林の整備や生活排水の流入の防止が挙げられるが、一歩踏み込んだ対策が必要と思われる

(2) 施策の取組紹介		
1	良かった	16
2	ふつう	16
3	改善が必要	1
4	回答なし	6



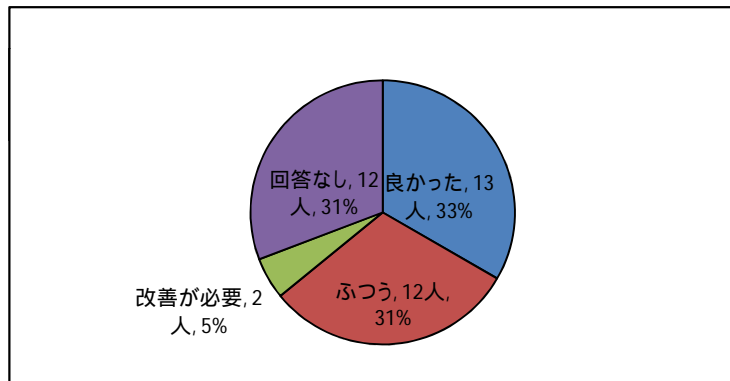
【良かった理由】

スコリア流出の取組、シカ対策を広げたこと。情報としてよかった
 現在の取組、今後について良く理解出来ました
 わかり易い説明でした
 事業内容が理解できた
 森林や土壌や水源に関する現物の展示があり、実物をふれられた

【改善が必要な理由】

記入なし

(3) パネルディスカッション		
1	良かった	13
2	ふつう	12
3	改善が必要	2
4	回答なし	12



【良かった理由】

具体的な話が聞けてよかった
 各団体の活動がより具体的
 具体的な活動の指針があった
 コーディネーターの質問がとてもわかり易くて良かった
 県市町の森林や河川の関連のお話、県の環境保全センター、市民団体、NPOに興味を持てたから

【改善が必要な理由】

司会、マイクの音が悪く聞き取りにくい
 意見交換が少なく、パネラーとコーディネーターからの一方的な情報提供のみであった。県民参加というなら、参加者の声をどの様に取り上げていくのかが必要と感じました

Q6 水源環境保全・再生の取組みに関してご意見・ご感想等をお聞かせください。

回答を希望される場合は、「回答を希望する」にチェックをつけてください。

回答は後日県水源環境保全課ホームページに掲載させていただきます。

ご意見・ご感想の内容を下記番号より選び、記載してください。(複数選択可)

森林関係、 水関係、 県民参加、 県民フォーラムの内容・運営、 配布資料、 その他

【回答を希望する】 0件

【回答を希望しない】 9件

意見番号

森林の保全を推進する施策で懸念される案件と思える事があり、それは相模原市鳥屋地区では車両基地にされるj事をはじめとする「リニア新幹線整備事業」であり、とても環境への悪影響を及ぼす可能性は高いを心配している。環境アセスの手続きを踏んでいるとはいえ予測と実際に整備を行なった後の結果は一致するものとの考えにくい。将来の水源環境をはじめとする持続可能な生活環境保持には、リニア新幹線整備事業の廃止を望む。そもそもこれからの将来は人口減少の一途になるのだから、リニア新幹線の需要は少ないはず。既存の東海道新幹線を耐震工事すれば、充分に交通需要を見得るはず

意見番号

県・県民の活動を各市町村と連携をとる様コミュニケーションを深めて欲しい(県指導で)
(もり・みず市民事業)活動地域市町村の理解が不足

意見番号

沢山の立派なリーフレット、紙などいつも少し多すぎると思います。内容に対して時間が長く感じました

意見番号

しずくちゃんの間伐材のうちわとたわしが嬉しかったです。各グッズについての紹介プリントがあったのが分かりやすく良かったです

意見番号

「木を使い森を守る水源の森の再生」をキーワードに今年11月で第13回を迎えます。川崎市民に多摩川ではなく、相模川や酒匂川のが水源であること、自分たちの飲料水と水源の森の環境について気づきを与える活動をしています。現在、山北・山梨県北杜にどんぐりの木苗を植樹する活動や様々な環境啓発活動をしています。連携や活動資金についてもご支援いただきたい
【水源のパンフ希望(イベントのため)】

水源環境保全税率0.025%は、他の税制(例えば消費税8% 将来10%以上)が引き上がっても、一定の割合負担にして安定するのか？

県民の超過税率年890円(H24~28年)は、この適用5年間で終了するのか？

意見番号なし

- 1.温対協が各市町村にあるはずで、この団体の利用を協同で考えませんか？CO²削減のためには、森林を利用する事大切と考えます。
- 2.相模原市内の林道開設を早急に実施願います

水源として山梨県の森林の手入れが大事と考えるが、行政の横断的な取組は可能なのか？

森林資源の利用を考えて場合、民間企業との協働が不可欠と考えるが、どの程度進んでいるのか？進めているのか？

水源税の用途の大きな部分は、事業者を通した活動費となっているので、どのような実態の事業者に発注しているのか。また、選定基準とか事業費の査定等がどのように行なわれているのかもオープンにしていく必要があると考えます。

県民参加活動のみの紹介を中心としたPRが情報開示として充分か検討すべきだと思います。水源税は、上乗せ税負担なのでその点この税の用途を県民にオープンにすることが大切と考えます